

NS型ネオスパン  
(イソシアレート品)下地・工法  
RC造  
金属胴縁工法留付方法  
ビス張り方向  
横・縦胴縁組  
606mm以下

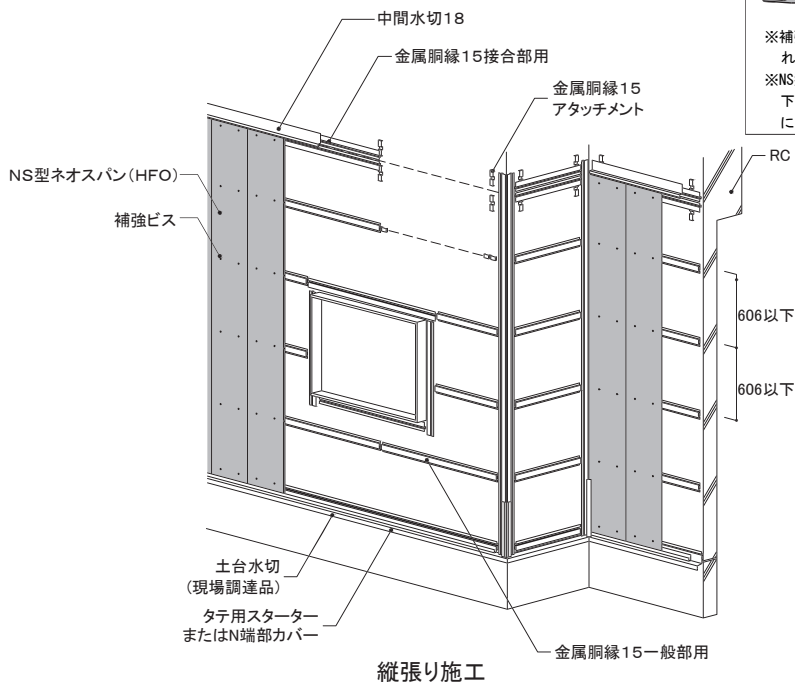
## 1) 基本構成図

16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

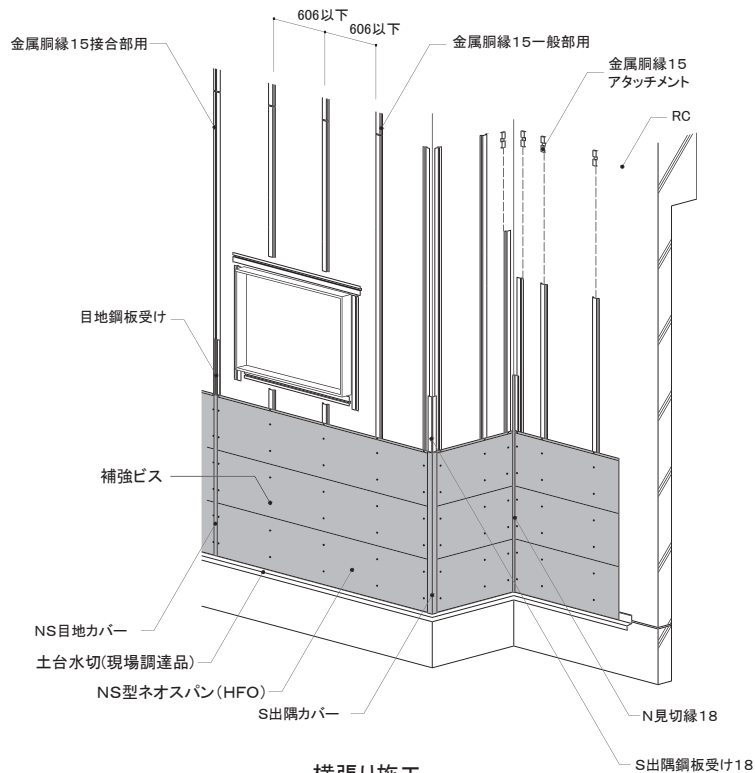
- NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。
- 金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

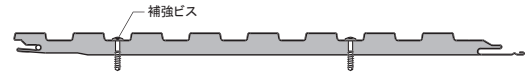


縦張り施工



横張り施工

補強ビスの基本留付位置



※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。

※NS型ネオスパンを先に一面張り上げ、あとから補強ビスを打ち込む場合、下地が見えず、補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスに干渉し打ち込めないおそれがあります。